

令和4年2月3日（木）

山本一太群馬県知事

定例記者会見

本日の主な項目

- **新型コロナ 直近の感染状況**
- **検査・診療方針の見直し**
- **豚熱 (CSF) 対策**

新規感染者数の推移

[人]

1400

1200

1000

800

600

400

200

0

新規感染者数
7日間移動平均

先々週

2505
人

先週

5291
人

今週

7020
人

12/16(木)

12/23(木)

12/30(木)

1/6(木)

1/13(木)

1/20(木)

1/27(木)

2/3(木)



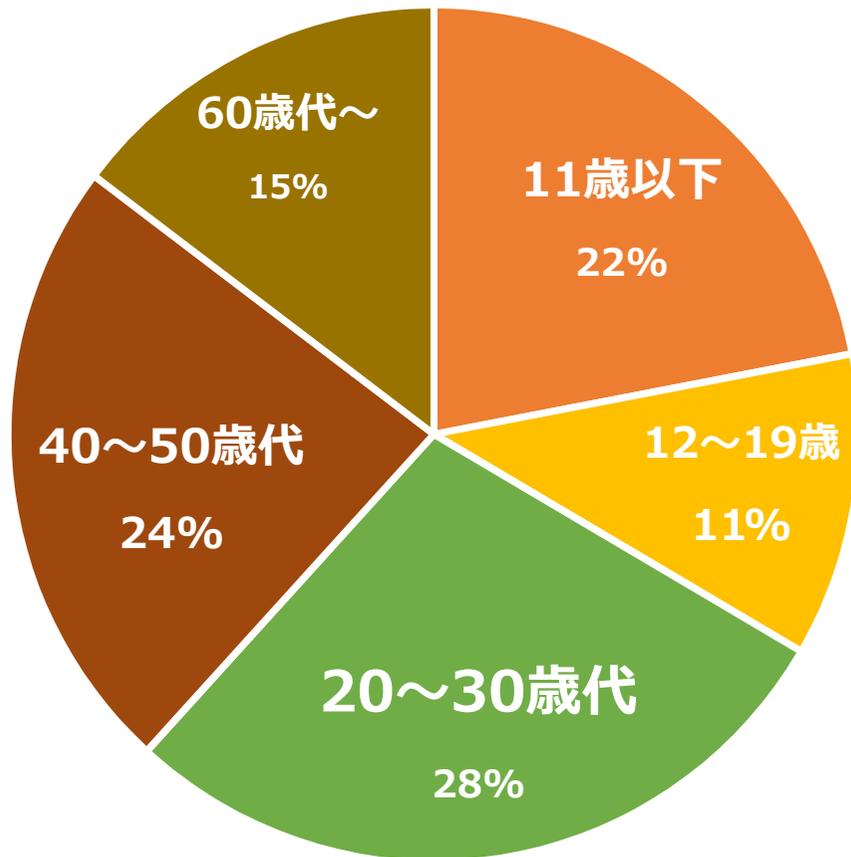
警戒レベル移行の判断基準 <客観的な数値>

項目		内容※	現在値※ (2/2)	前回値 (1/25)
1 感染の状況	(1)新規感染者数	平均 40 人/日	988.7 人 ↑	636.4 人
	(2)感染経路不明の割合	感染経路不明 50 %	55.7 % ↑	52.5 %
	(3)検査の陽性率	平均 7 %	35.5 % ↑	20.3 %
	(4)今週先週比	1.0 以上が 10 日間継続	1.44 ・ 34 日間継続 ↑	2.38 ・ 26 日間継続
2 医療逼迫の状況	(1)病床使用率 (561床中)	レベル0,1 0 ~ 30 %未満	63.8 % ↑	56.1 %
	(2)重症病床使用率 (37床中)	レベル2 30 ~ 50 %未満		
	参考	入院率、療養者数、重症者数、中等症者数、自宅療養者と調整中の合計	レベル3 50 %以上 or3週間後に確保病床到達	8.1 % ↑
		【レベル引下げ時】 減少・改善傾向にあること	—	—

※各判断基準は、現状の医療提供体制を逼迫させないことを基にしているため、今後の体制整備等の進展に合わせ、基準も変動する可能性があります。
 ※1の(1)~(3)は**1週間**の移動平均。 ※陽性率は推定値で、民間・病院の検査結果により後日変動します。 ※経路不明率はその後の調査で変動します。

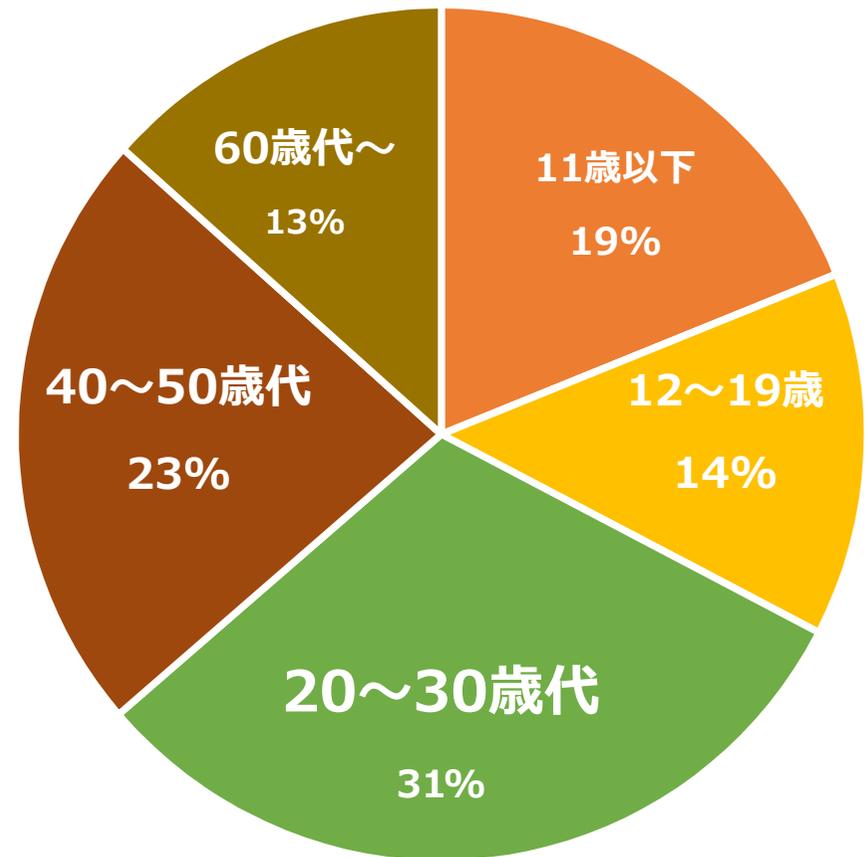
新規感染者の状況（年代別）

1週間（1/27~2/2 6,911人）



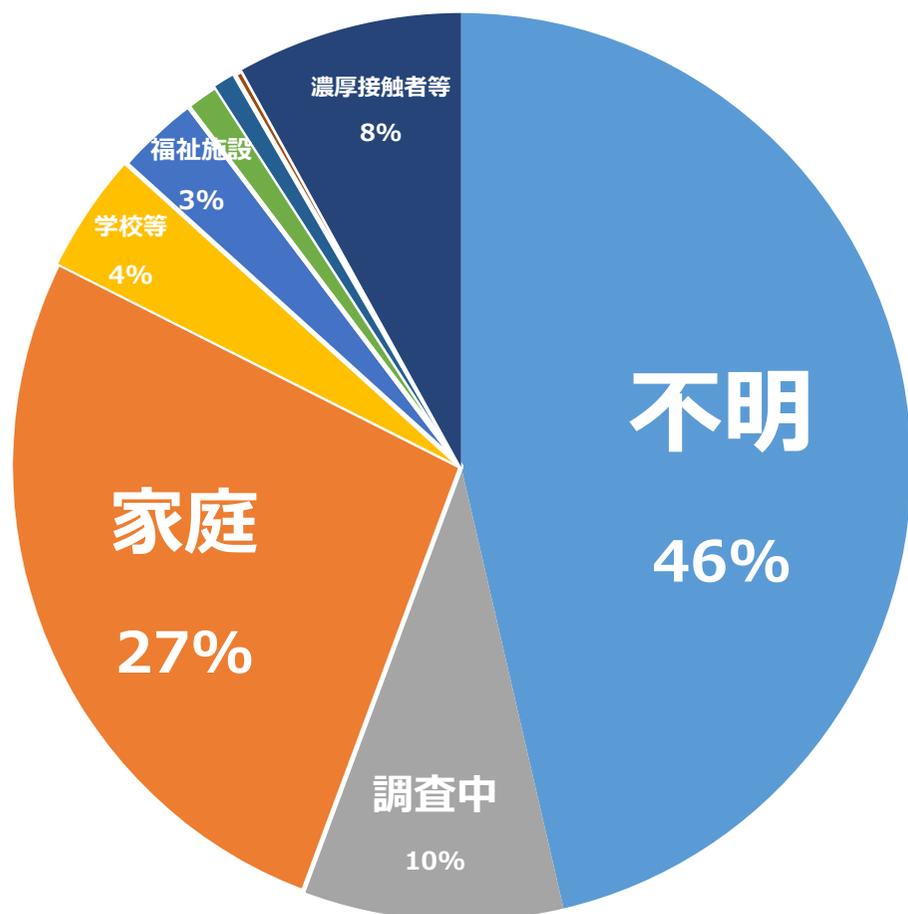
年齢不明を除く

【参考】 1か月（1/3~2/2 14,573人）

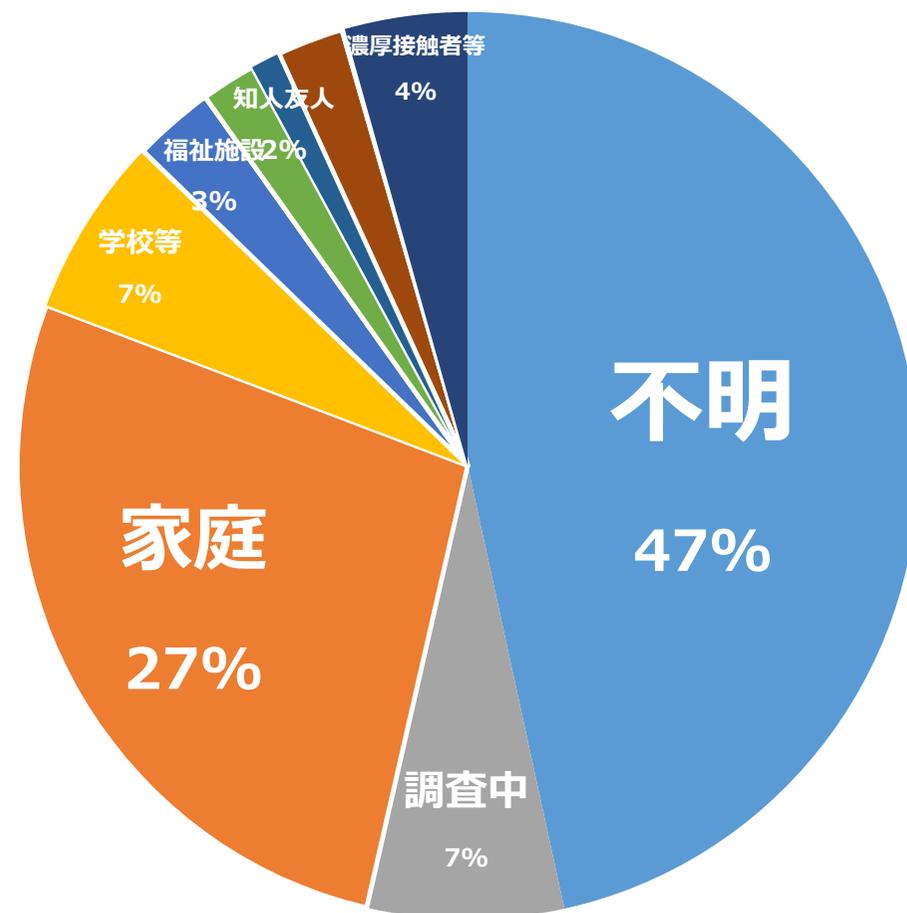


新規感染者の状況（推定感染経路別）

1週間（1/27~2/2 6,921人）

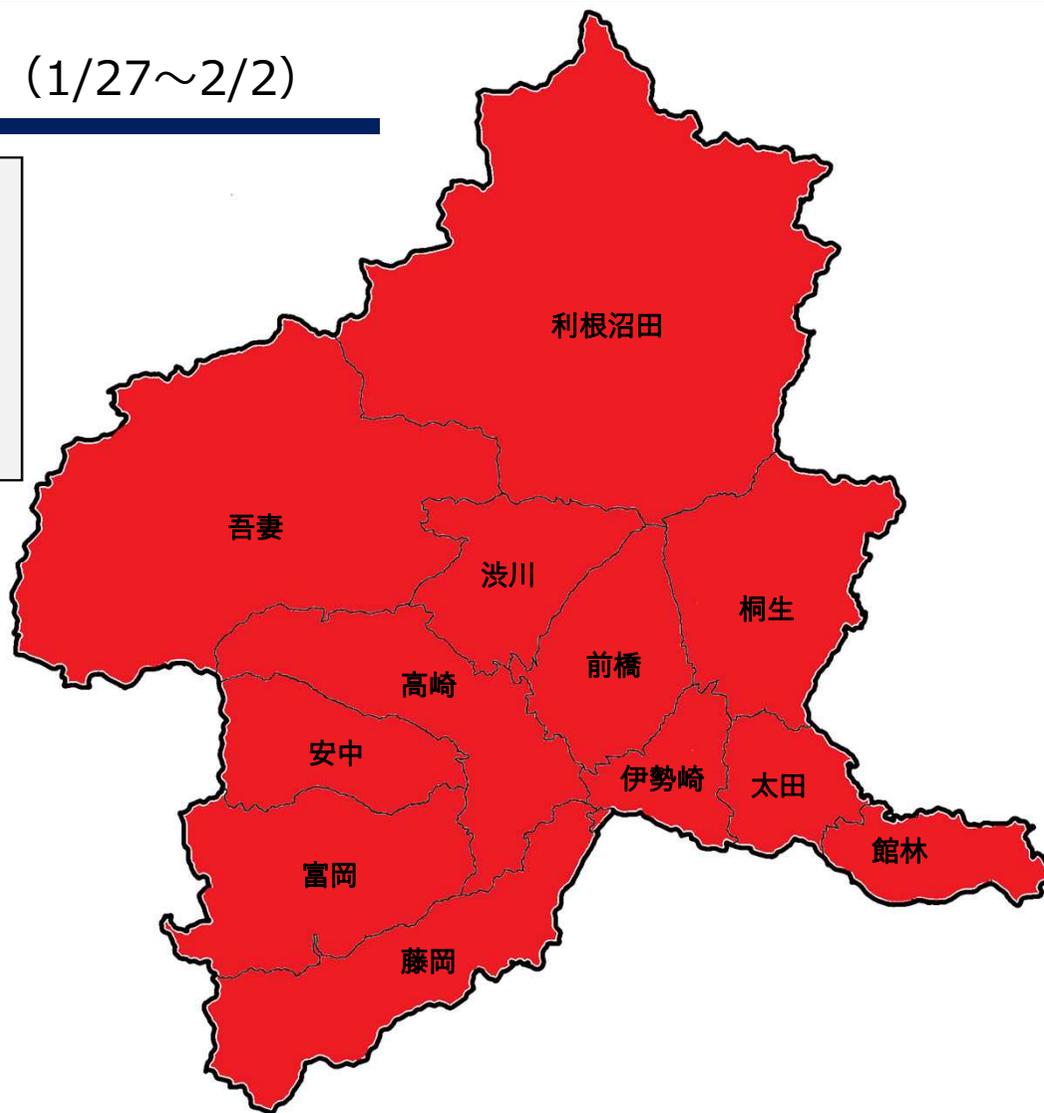


【参考】1か月（1/3~2/2 14,600人）



【保健所管内別】 10万人当たりの新規感染者数

直近 1 週間 (1/27~2/2)

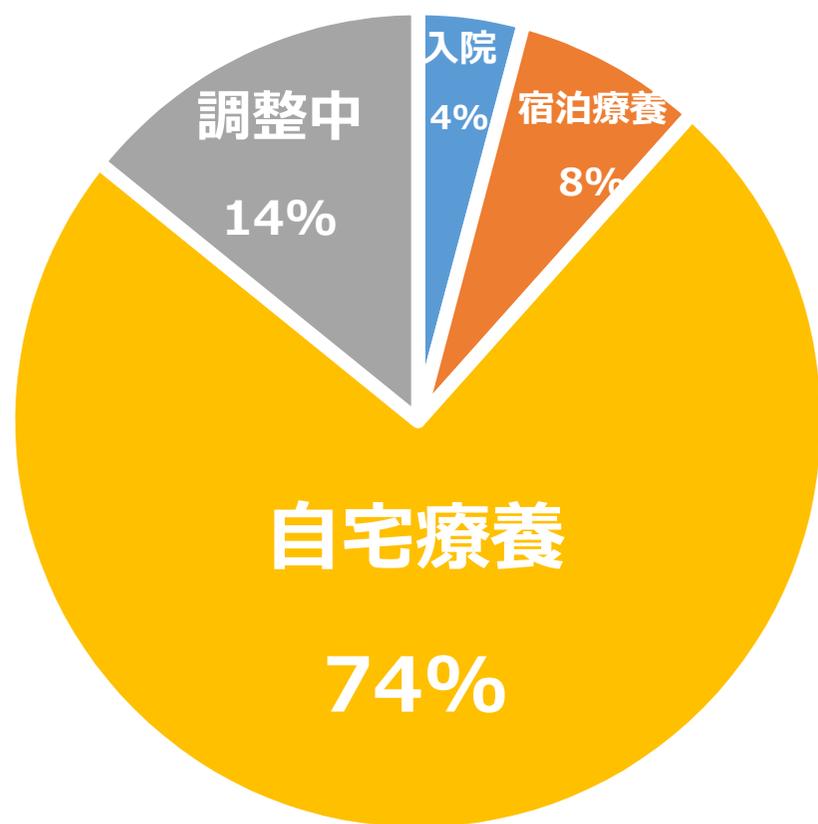


保健所名 (管轄)	新規感染者
伊勢崎保健所管内 (伊勢崎市・佐波郡)	69.2人/日
高崎市保健所管内 (高崎市)	57.1人/日
太田保健所管内 (太田市)	53.8人/日
館林保健所管内 (館林市・邑楽郡)	50.6人/日
富岡保健所管内 (富岡市・甘楽郡)	49.6人/日
前橋市保健所管内 (前橋市)	49.1人/日
桐生保健所管内 (桐生市・みどり市)	44.7人/日
吾妻保健所管内 (吾妻郡)	41.7人/日
安中保健所管内 (安中市)	37.2人/日
藤岡保健所管内 (藤岡市・多野郡)	36.5人/日
利根沼田保健所管内 (沼田市・利根郡)	27.8人/日
渋川保健所管内 (渋川市・北群馬郡)	27.1人/日

療養者の状況

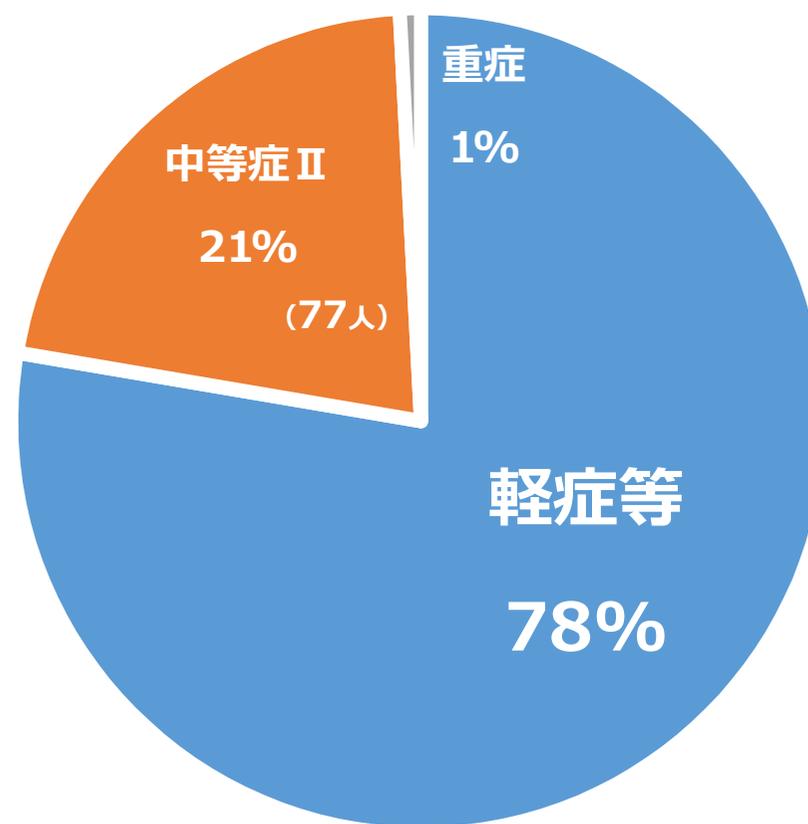
療養の状況（8,574人）

2/2時点



入院者の状況（358人）

2/2時点

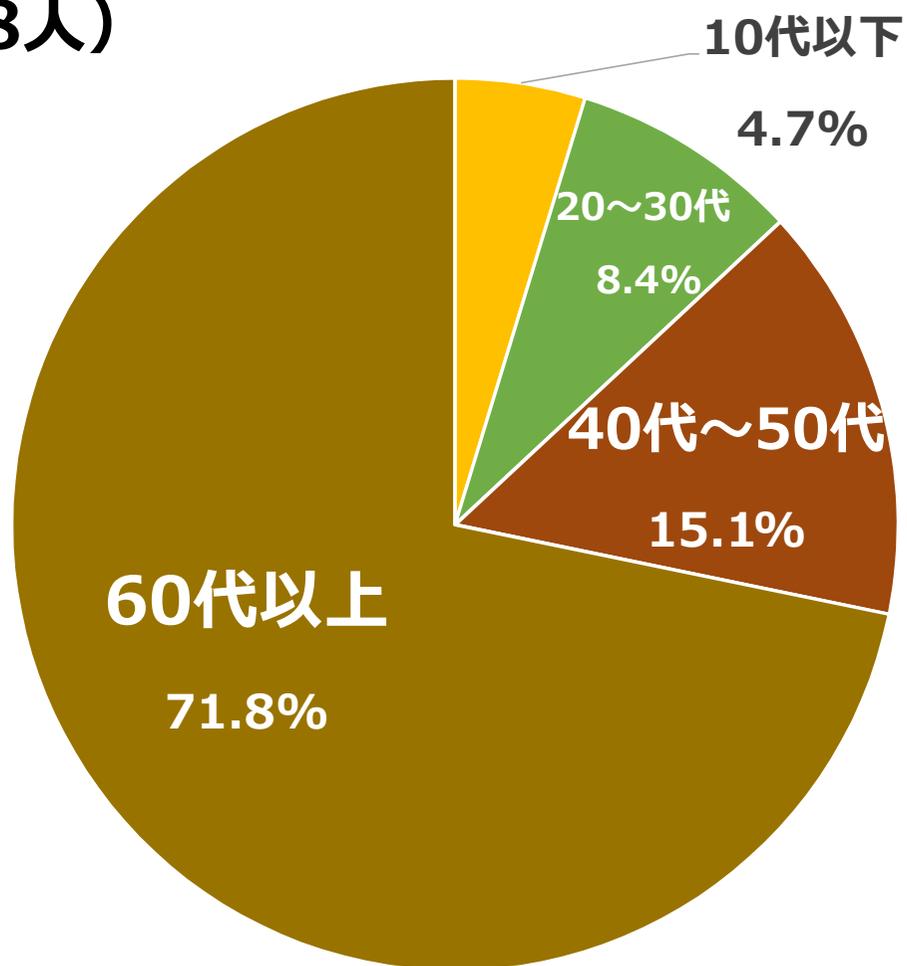


中等症Ⅱ：酸素投与が必要な状態

入院者の年代

入院者の状況 (358人)

2/2時点



検査等の現状

感染急拡大により**検査需要が増加**

外来診療ひっ迫

検査キット不足



限られた「**医療資源**」「**検査資材**」

重症化リスクの高い方に集中させる必要

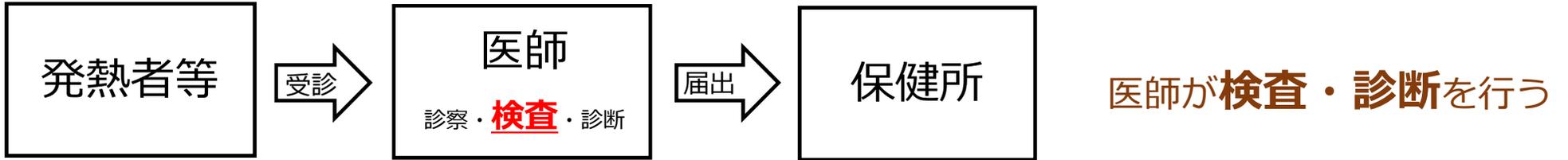
濃厚接触者に対する検査

		積極的疫学調査対象 同居家族、医療機関、福祉施設 保健所長が必要と認める施設
有症状者		検査する
無症状者	重症化リスク高	
	重症化リスク低	検査しない (症状が出たときは検査)

※ 学校・企業・個人等の濃厚接触者については、上記の対応を参考に対応を。

外来診療における検査

通常の受診・検査の流れ



新たに認められた方法 (1月28日から)

【 1. 症状があり、重症化リスクが低い人 】



【 2. 同居家族などの濃厚接触者で症状がある人 】



医師の判断により、
医療機関での検査が省略可能

3回目接種の必要性

時間が経つと抗体価が減退

東京都医学総合研究所の調査

2回接種から7か月後

13分の1 に低下
(約 **92%** 減少)

(都立病院職員ら1,139人)

横浜市立大学の調査

2回接種から6か月後

80% 減少

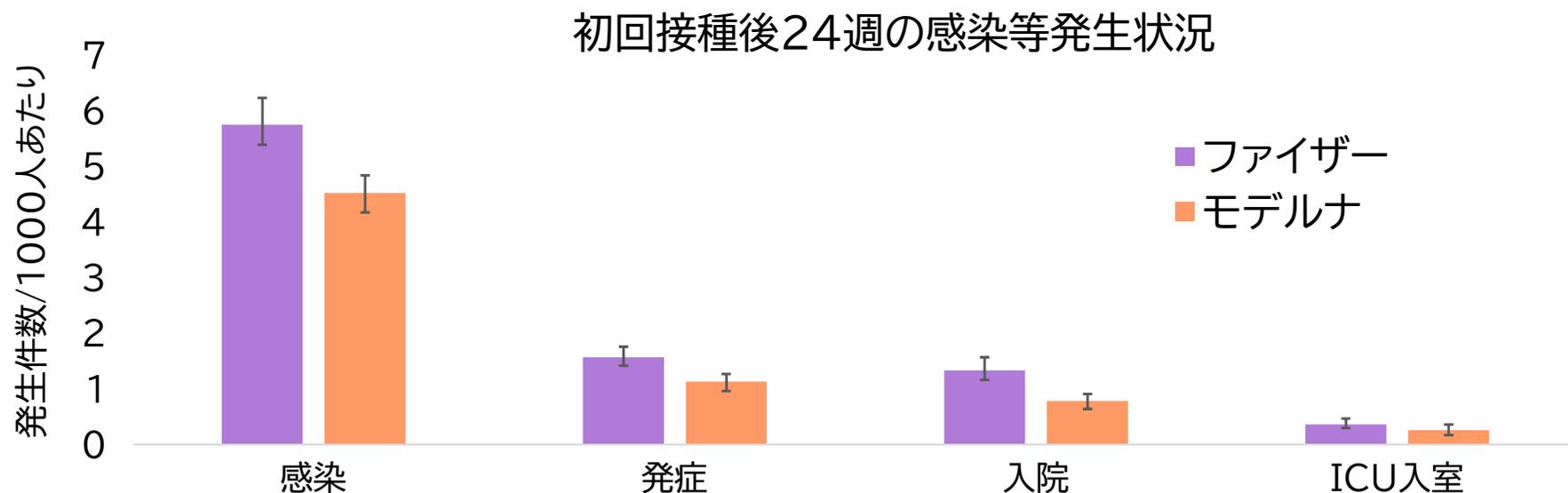
(大学の医療従事者98人)

モデルナ社ワクチンの特徴

特徴
1

効果が比較的落ちにくい

▶ 1,2回目接種の約半年後の効果が**他の同種ワクチンより高い**



出典: Dickerman BA, et al. NEJM. December 1, 2021.

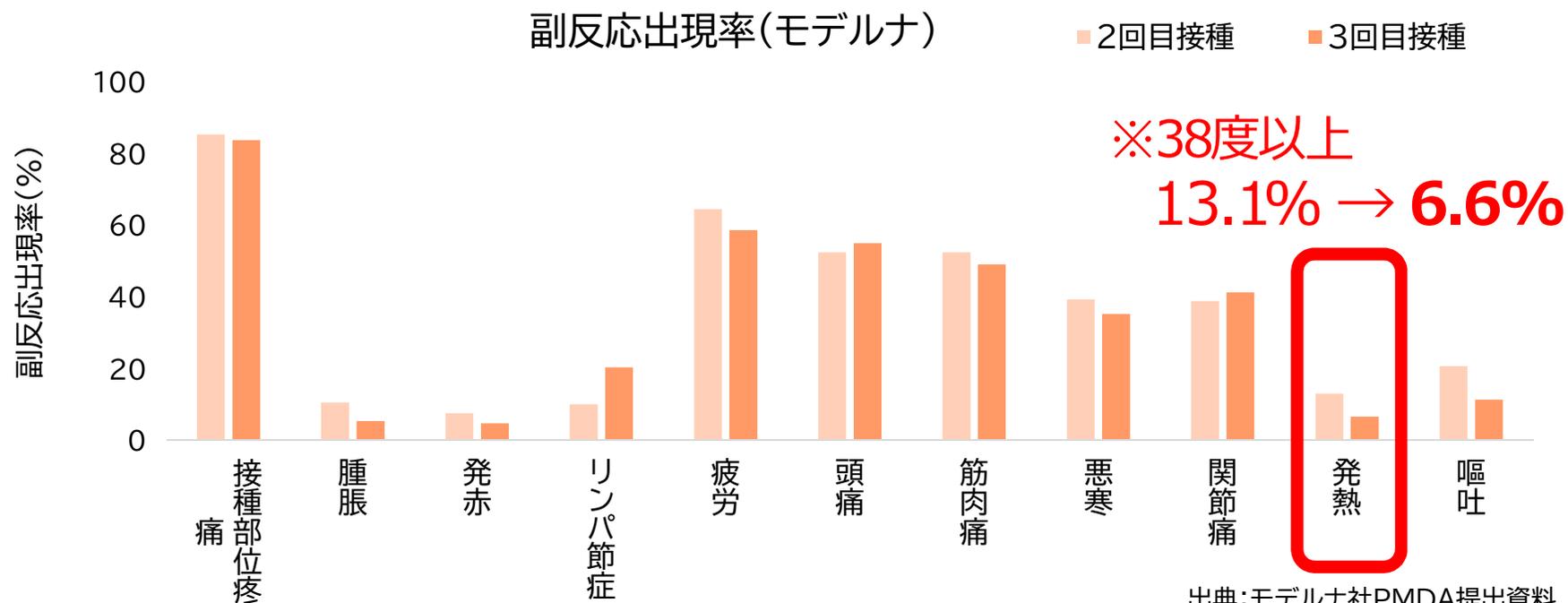
モデルナ社ワクチンの特徴

特徴

2

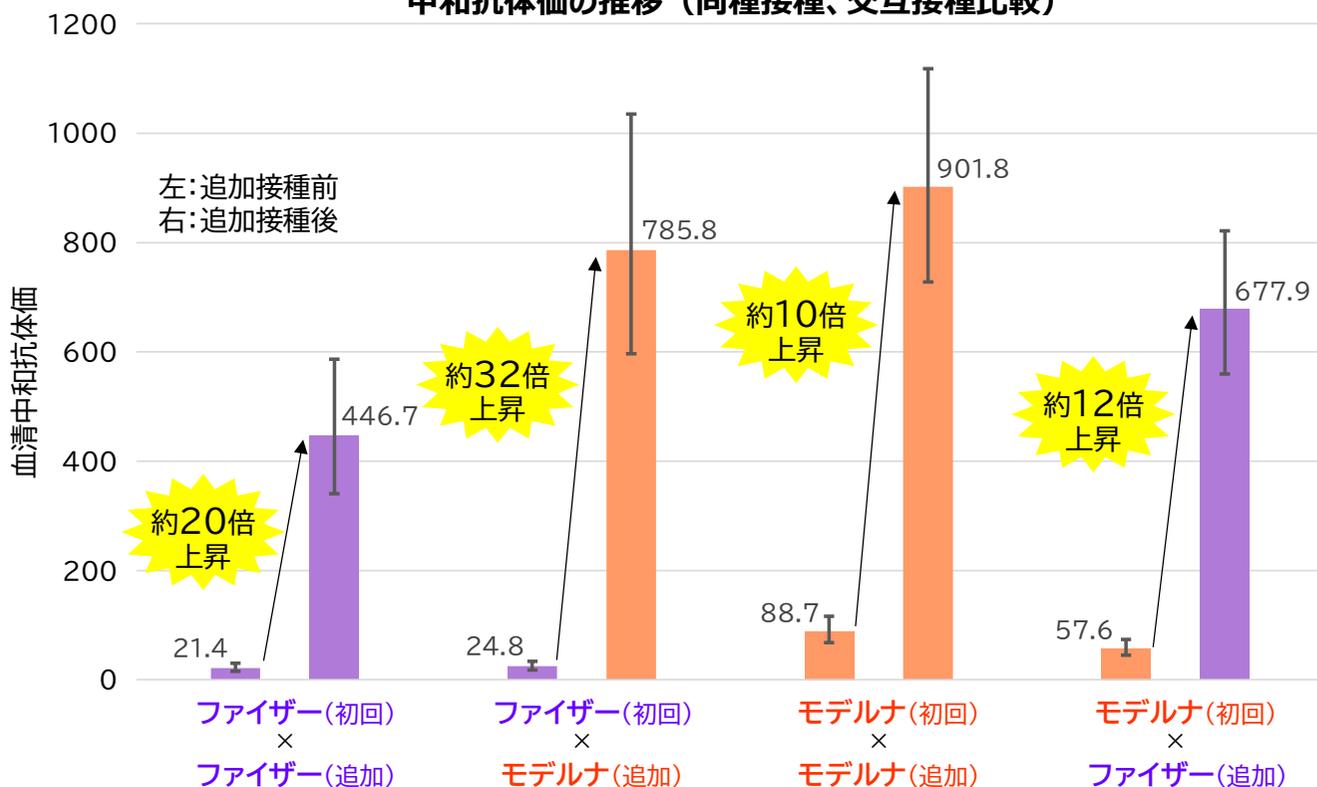
3回目接種は副反応も少ない

▶ 3回目の接種量は1,2回目の半量で副反応は2回目と同等以下



3回目接種における交互相種の有効性

中和抗体価の推移（同種接種、交互相種比較）



出典: Atmar RL, Lyke KE, Deming ME, et al. Heterologous SARS-CoV-2 Booster Vaccinations – Preliminary Report

※本データのモデルナ社ワクチン追加接種は100 μ g投与(追加接種では50 μ g投与)

同種接種、交互相種
すべての組合せで
十分な予防効果

**早く打つことができる
ワクチンを接種する**

群馬県の養豚農場の現状

現状

農場が**山間部に集中**

豚熱陽性イノシシ確認地点から10km圏内の農場数が本州最大

▶ 他県に比べて**感染のリスクが高い**

ポイント

いかに農場内への豚熱ウイルスの侵入を防ぐか

抜本的な対策 3つの柱

1

野生イノシシ対策

2

飼養衛生管理

3

子豚へのワクチン接種

抜本的な対策 3つの柱

1

野生イノシシ対策

2

飼養衛生管理

3

子豚へのワクチン接種

抜本的な対策の見直し

野生イノシシ対策

これまでの対策

経験に基づく捕獲

- ・ 捕獲従事者に対する奨励金の増額
- ・ 通報機能付きくくりわなによる捕獲



新たな対策

戦略的な捕獲

- ・ **新たな捕獲従事者**の確保
- ・ **「捕獲アプリ」**のデータに基づく捕獲活動の展開



- ・ 赤城南面地域に**緩衝帯**を整備

抜本的な対策 3つの柱

1

野生イノシシ対策

2

飼養衛生管理

3

子豚へのワクチン接種

これまでの対策

知事認定獣医師等 による指導

- ・ 知事認定獣医師、家保職員による指導
- ・ 自己点検アプリ等による気付きの促し



新たな対策

防疫アドバイザー の設置

- ・ **防疫アドバイザー**（コンサル専門の獣医師）による指導

【効果】

- ・ よりきめ細やかな指導へ
- ・ **ハード面**の対策も指導

抜本的な対策 3つの柱

1

野生イノシシ対策

2

飼養衛生管理

3

子豚へのワクチン接種

これまでの対策

抗体価を測定できない エライザ法が中心

- ・ 接種適期を農場ごとに検討
- ・ 検査体制に課題
- ・ 検査精度に限界



新たな対策

中和抗体検査 の強化

- ・ より高感度で抗体価を測定

【効果】

- ・ 正確なデータ分析が可能に
- ・ より的確なアドバイス

群馬県知事 山本一太の「直滑降ストリーム」

ゲスト

須藤 元

日本ミシュランタイヤ株式会社
代表取締役社長

テーマ：群馬を起点とした新しい産業の創出

令和4年2月8日（火）18時～ tsulunos でライブ配信